平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　株式会社 ネプロジャパン　　上場取引所　大
コード番号　9421　　URL　http://www.nepro.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小澤　正彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長　(氏名) 筒井　俊光　TEL 03-6803-3973

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,878	△5.1	241	―	203	―	△73	―
23年3月期第3四半期	11,462	26.0	△218	―	△276	―	△774	―

(注) 包括利益　24年3月期第3四半期　△41百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△1,139百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△2,824.86	―
23年3月期第3四半期	△29,804.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,923	1,478	12.9
23年3月期	6,998	1,577	13.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　891百万円　23年3月期　974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	1,000.00	1,000.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	0.6	400	―	330	―	50	―	1,918.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有
新規 1社 （社名） （株）モバイル＆ゲームスタジオ 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	26,752 株	23年3月期	26,752 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	690 株	23年3月期	690 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	26,062 株	23年3月期3Q	25,984 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな持ち直し傾向が続いているものの、海外経済の減速や円高の影響が依然として下振れ要因として存在しており、改善の動きは鈍化しております。

一方、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場は、ラインアップの充実によりスマートフォンの販売台数全体に占める割合が増加しており、またデータ通信での次世代移動通信サービス対応端末の広がりもあり、市場の拡大基調が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループでは、店舗における接客サービスの向上と営業体制の強化により、スマートフォン等の高機能端末への需要の取り込みを積極的に行うと共に、店舗の好立地への移転や経営資源の効率配分を進めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、前期に行った連結子会社の異動等による連結除外によって売上高の減少があるものの、スマートフォン需要に伴い販売台数の前年対比増が続いていること及び当第３四半期連結会計期間から(株)モバイル＆ゲームスタジオの連結損益取り込みにより、10,878百万円と前年同四半期と比べ584百万円(5.1%)の減収に留まりました。

営業利益及び経常利益は、前期より縮小を進めてきました移動体通信事業以外の事業による赤字額が減少したこと及び全社管理部門における費用削減の取り組みの結果、それぞれ241百万円の営業利益(前年同四半期は218百万円の営業損失)、203百万円の経常利益(前年同四半期は276百万円の経常損失)となりました。

四半期純利益は、第１四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社である(株)ビーツーアイジャパン(旧(株)ネプロアイティ)における小額公募増資申込証拠金の不正出金被害に伴う同社財務状況の悪化を受け、当社が保有する同社株式及び同社に対する債権について投資有価証券評価損及び貸倒引当金繰入額を計上していることに加え、平成23年12月２日に公布された「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）により平成24年４月１日以降開始する事業年度から税率が引下げられることから、繰延税金資産及び負債の計算に使用される実効税率を見直し、この変更に係る影響額90百万円を法人税等に計上した結果、73百万円の四半期純損失(前年同四半期は774百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

当第３四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第３四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 移動体通信事業

当セグメントにおきましては、当社にて単一の移動体通信事業者の端末・サービスを取り扱う携帯電話専門店(キャリアショップ)、連結子会社である(株)キャリアフリーにて複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、スマートフォン需要に伴い販売台数が前年を上回るペースで推移したことにより売上高は増加したものの、販売増に伴う販売管理費の増加や移動体通信事業者からの手数料減少等により、売上高は10,400百万円と前年同四半期と比べ297百万円(2.9%)の増収、セグメント利益(営業利益)は573百万円と前年同四半期と比べ38百万円(6.4%)の減少となりました。

② モバイルゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)モバイル＆ゲームスタジオにてゲームコンテンツの企画・制作を行っております。

(株)モバイル＆ゲームスタジオの連結損益取り込みは当第３四半期連結会計期間からでありますが、当第３四半期連結累計期間におきましては、売上高は254百万円、セグメント利益(営業利益)は8百万円となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、人材コンサルティング事業、IP関連機器及び機密ファイル管理システムの企画・販売事業等を行っております。人材コンサルティング事業につきましては、連結子会社である(株)ネプロサービスにて当社グループ移動体通信事業の店舗に対する人材派遣及び携帯端末メーカーから委託を受け携帯電話の販売プロモーション等を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、売上高は470百万円、セグメント損失(営業損失)は24百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は6,923百万円となり前連結会計年度末と比べ74百万円の減少となりました。主な要因は(株)モバイル＆ゲームスタジオの発行済株式のすべての取得に伴うのれんの増加288百万円、長期未収入金の増加357百万円、貸倒引当金の増加293百万円等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債は5,445百万円となり前連結会計年度末と比べ23百万円の増加となりました。主な要因は買掛金の増加352百万円、短期借入金の増加174百万円、長期借入金の減少515百万円等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は1,478百万円となり前連結会計年度末と比べ98百万円の減少となりました。主な要因は四半期純損失73百万円、配当金の支払額26百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年11月４日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正は行っておりません。第４四半期連結会計期間の移動体通信事業、モバイルゲーム事業の事業環境は、継続して堅調に推移すると予想しております。

当連結会計年度（平成24年３月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高15,500百万円、連結営業利益400百万円、連結経常利益330百万円、連結当期純利益50百万円を見込んでおります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成23年９月９日付にて、当社の持分法適用関連会社である(株)ビーツーアイジャパン(旧(株)ネプロアイティ)より同社の完全子会社でありました(株)モバイル＆ゲームスタジオの発行済株式の全てを取得し、当社の完全子会社としております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,217	719,607
受取手形及び売掛金	1,557,806	1,682,844
商品及び製品	709,295	836,060
仕掛品	―	76,616
原材料及び貯蔵品	5,116	4,479
その他	896,030	509,438
貸倒引当金	△2,587	△2,587
流動資産合計	3,763,879	3,826,459
固定資産		
有形固定資産	325,893	374,629
無形固定資産		
のれん	―	273,728
その他	73,619	89,581
無形固定資産合計	73,619	363,310
投資その他の資産		
差入保証金	1,260,056	1,250,003
繰延税金資産	833,941	838,176
長期未収入金	495,295	852,897
その他	832,356	298,057
貸倒引当金	△586,336	△879,536
投資その他の資産合計	2,835,313	2,359,599
固定資産合計	3,234,826	3,097,539
資産合計	6,998,706	6,923,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,020,143	1,372,794
短期借入金	1,005,002	1,180,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	896,919	767,392
未払法人税等	11,387	25,049
賞与引当金	72,739	31,504
その他の引当金	5,041	5,041
その他	550,571	800,729
流動負債合計	3,761,804	4,382,512
固定負債		
社債	150,000	50,000
長期借入金	1,158,183	642,596
退職給付引当金	100,015	110,567
その他	251,490	259,634
固定負債合計	1,659,689	1,062,799
負債合計	5,421,494	5,445,311

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	345,825	345,825
利益剰余金	112,481	△18,264
自己株式	△28,635	△28,635
株主資本合計	1,022,515	891,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,267	－
為替換算調整勘定	△46,992	－
その他の包括利益累計額合計	△48,260	－
少数株主持分	602,957	586,918
純資産合計	1,577,212	1,478,687
負債純資産合計	6,998,706	6,923,999

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	11,462,447	10,878,300
売上原価	8,478,477	8,136,237
売上総利益	2,983,969	2,742,062
販売費及び一般管理費	3,202,824	2,500,589
営業利益又は営業損失（△）	△218,855	241,472
営業外収益		
受取利息	18,411	17,523
受取手数料	13,806	26,272
負ののれん償却額	22,272	－
不動産賃貸料	22,729	5,555
その他	14,024	6,771
営業外収益合計	91,245	56,123
営業外費用		
支払利息	63,104	58,833
支払手数料	33,497	2,833
持分法による投資損失	37,853	32,356
不動産賃貸原価	9,091	－
その他	5,785	236
営業外費用合計	149,333	94,259
経常利益又は経常損失（△）	△276,943	203,336
特別利益		
固定資産売却益	1,450	－
持分変動利益	7,467	－
投資有価証券売却益	－	18,684
関係会社株式売却益	38,257	58,066
特別利益合計	47,174	76,750
特別損失		
固定資産売却損	－	2,843
減損損失	488,663	－
投資有価証券評価損	48,499	79,709
貸倒引当金繰入額	278,282	291,972
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,618	－
事業撤退損	99,199	－
その他	52,757	12,561
特別損失合計	1,026,021	387,087
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,255,790	△107,000
法人税等	△124,949	△17,340
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,130,841	△89,660
少数株主損失（△）	△356,395	△16,038
四半期純損失（△）	△774,445	△73,621

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,130,841	△89,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,531	－
持分法適用会社に対する持分相当額	△762	48,260
その他の包括利益合計	△8,294	48,260
四半期包括利益	△1,139,135	△41,400
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△777,622	△25,361
少数株主に係る四半期包括利益	△361,513	△16,038

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,103,084	676,246	10,779,330	683,116	11,462,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	6,386	6,386	239,219	245,605
計	10,103,084	682,633	10,785,717	922,335	11,708,053
セグメント利益又は損失(△)	612,190	11,147	623,337	△461,049	162,288

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	623,337
「その他」の区分の損失(△)	△461,049
セグメント間取引消去	1,723
全社費用(注)	△382,866
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△218,855

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,400,263	254,773	10,655,036	223,263	10,878,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	246,957	246,957
計	10,400,263	254,773	10,655,036	470,221	11,125,257
セグメント利益又は損失(△)	573,209	8,253	581,463	△24,975	556,488

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	581,463
「その他」の区分の損失(△)	△24,975
セグメント間取引消去	171
全社費用(注)	△315,187
四半期連結損益計算書の営業利益	241,472

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第１四半期連結会計期間において、「移動体通信事業」の単一セグメントへ報告セグメントを変更しましたが、当第３四半期連結会計期間より、「移動体通信事業」及び「モバイルゲーム事業」の２つに変更しております。

この変更は、平成23年９月９日付で(株)モバイル＆ゲームスタジオの発行済株式の全てを取得し、当社の完全子会社としたためであります。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「モバイルゲーム事業」セグメントにおいて、当社は平成23年９月９日付で(株)モバイル＆ゲームスタジオの発行済株式の全てを取得し、当社の完全子会社としております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては288,134千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。